

ローラーポジションインジケータ
ROLLER POSITION INDICATOR (HR-Y22)
【07～シグナスX Fi車(国内仕様)】

車種専用ハーネスキット
取扱説明書

セット内容

- 専用ハーネス x1 ●PG-110スピード信号変換機 ●PG-110用アルミステー
- マグネット、ドーナツ型テープ x各6 ●チェック用LED
- タイラップ長(297mm) x2, 短(142mm) x5

本製品にはローラーポジションインジケータ本体は含まれません。

別売りの【RPI-110】¥9,800(税込)が必要です。

注意事項

- 本説明書はシグナスX(国内仕様SE44J)に対応する内容で記載致しております。車両メーカー発行のサービスマニュアルを参照いただき作業を行ってください。
- RPIメーター本体の裏面にはスイッチがあります。付属の両面テープを貼り付けて、水が浸入しないように注意してください。
- 取り付けは説明書に沿って正しく行ってください。説明書記載以外の方法での取り付けは火災・事故などの原因になる事があります。ご注意ください。
- 本製品の使用により生じた事故・故障などいかなる損害においても当社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 製品に不具合が発生し、修理や返品の際に生じた工賃・送料などいかなる費用について、当社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。

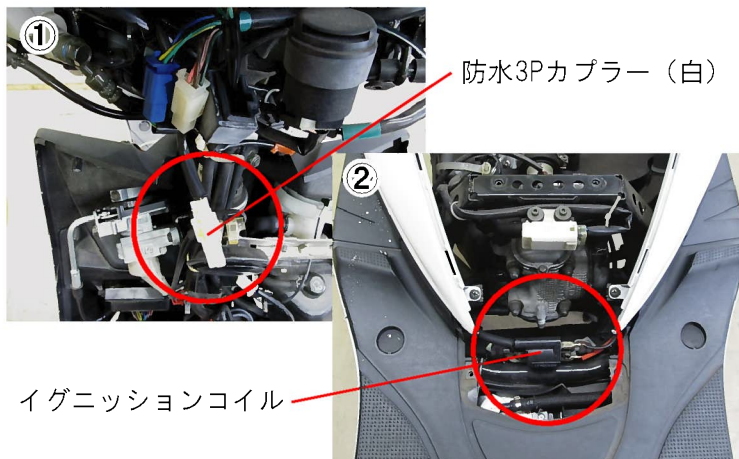
取り付け方法

※本説明書では製品の取り付けのみ解説いたします。
車両メーカー発行のサービスマニュアルを参考に作業してください。

【取り付け作業の準備】

※作業の際は必ずキーOFFで行ってください。

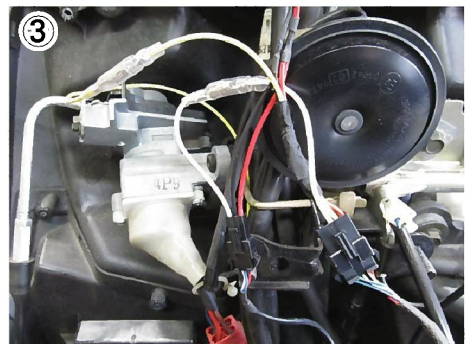
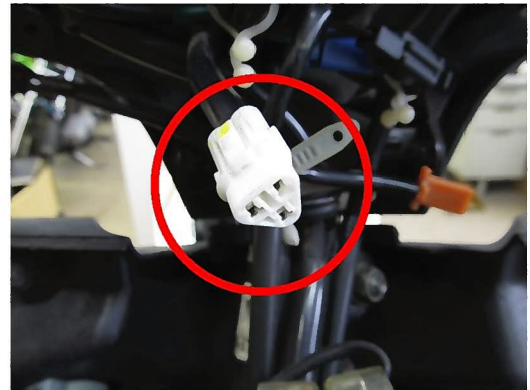
- ①ハンドルカバー、フロントカバー(レグシールド)を外します。
- ②カバーサイド1を外し、イグニッションコイルを出します。



【専用ハーネスの取り付け】

- ①専用ハーネスの白3Pカプラー(防水タイプ)を車体側ハーネスの白3Pカプラー(防水タイプ)に接続します。
- ②専用ハーネスの黄色線をイグニッションコイルの下側端子と車体側の赤いチューブ線の間に割り込ませます。
- ③イグニッションコイルへ接続した黄色線を、専用ハーネスまで取り回して接続します。

※12V(+)出力サービス端子は、弊社[盗難警報機CS-550]の接続を始め、アクセサリ電源として多目的に活用頂けます。

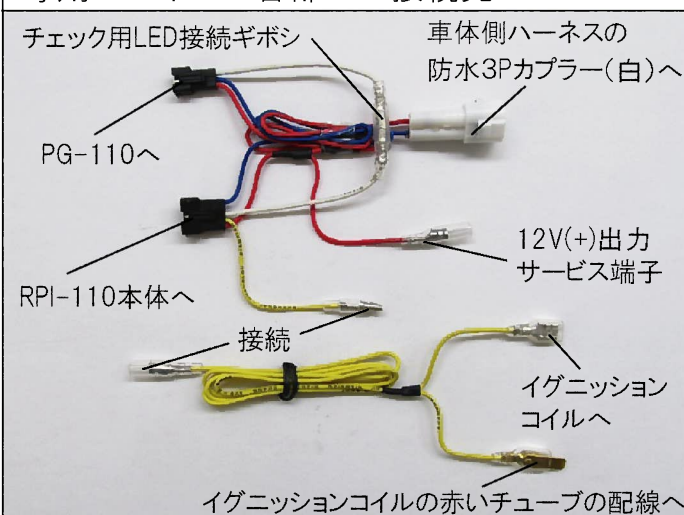


【RPI本体の取り付け】

- ①メーター周りのお好みの位置にRPI-110本体を両面テープを使って貼り付けます。
※ ハンドルを左右に切った際、専用ハーネスやRPI本体の配線に無理な力が加わらないよう取り回し、タイラップで固定してください。
※ 後ほどローラーポジション設定 並びに、REVインジケータの設定を行いますので仮付けにしてください。
- ②RPI-110本体コードをフロントカバー内の専用ハーネスまで通し、専用ハーネスの5Pカプラーと接続します。

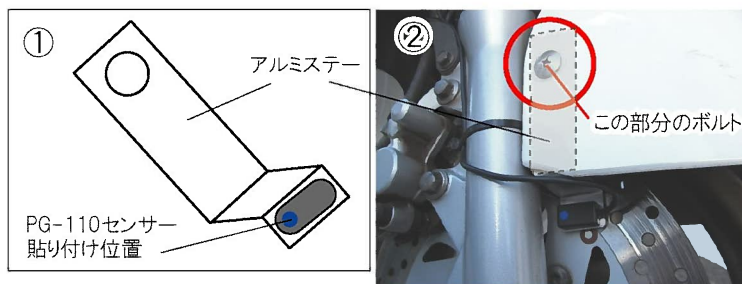


専用ハーネスの各部への接続先



【PG-110 スピード信号センサーの取り付け】

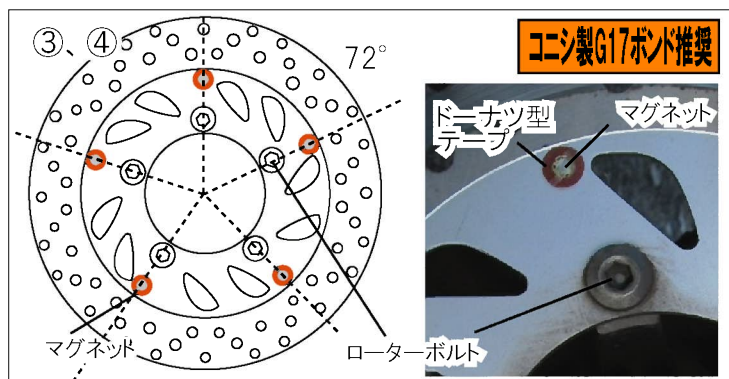
- ①PG-110センサーをアルミステーへ貼り付けます。
- ②PG-110センサー用アルミステーを画像の赤丸で示したフェンダーボルトで共締めします。PG-110センサーとマグネットとの隙間は3～5mmの範囲で調整します。



下の枠内の注意点を参考に
フロントディスクローターにマグネットを5箇所貼付けます。



- ③ドーナツ型のガイドテープを72° 間隔で貼ります。
- ④マグネットを市販の金属用ボンド使って貼り付けます。
※マグネットは必ずホイール中心部に対し72° になるように等間隔に配置します。ローターディスクボルトが72° 間隔に5つありますので、それを目安にしてください。



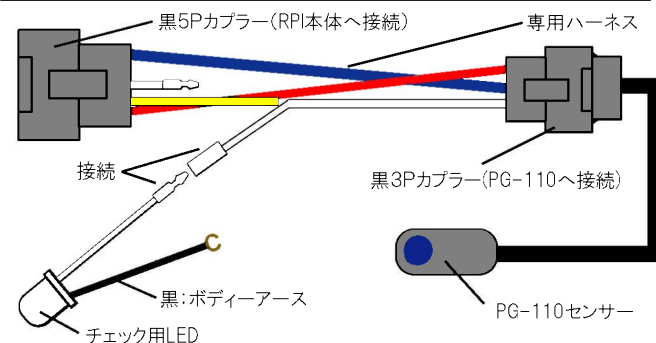
- ⑤PG-110のコードはフロントフォークやブレーキホースに沿ってタイラップで縛り、巻き込みやストローク時に引っ張られないように取り回し、専用ハーネスまで通します。
※コードに無理なストレスが加わらないように取り回してください。
- ⑥PG-110センサー3Pカプラーを専用ハーネスの3Pカプラーへ接続してください。余ったコードは束ねてタイラップで結束します。



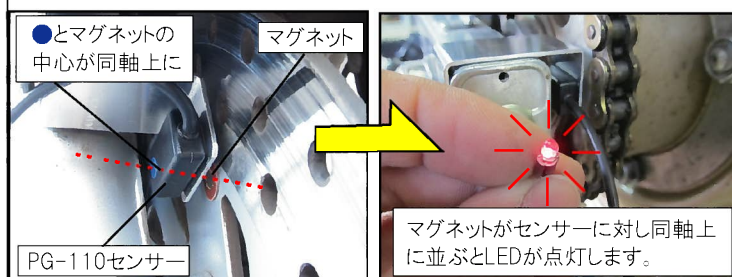
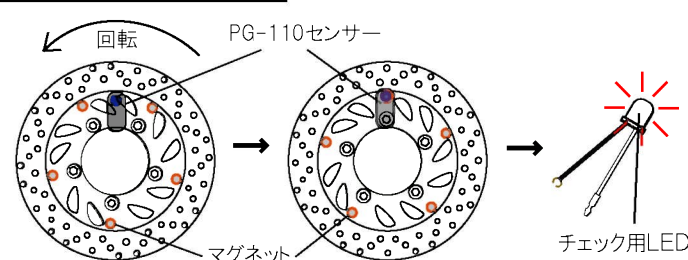
【PG-110センサーとマグネットの位置をチェック】

- ①専用ハーネスの黒5Pカプラーと、黒3Pを繋いでいる白線のギボシ端子を外し、チェック用LEDの白線を黒3Pカプラーの白線(メスギボシ側)へ接続します。
- ②チェック用LEDのもう一方の線(青または黒)はボディーアースへ接続してください。
- ③イグニッションキーONにし、フロントホイールをゆっくり回転させ、マグネットがPG-110センサーを通過する時にLEDが点灯し、通り過ぎたら消える事を全てのマグネットにて確認してください。全て点灯していれば正常です。

PG-110センサーとマグネットの位置調整確認用LEDの接続図



チェック用LEDの確認方法



イグニッションキーをONにし、フロントホイールをゆっくりと回転させます。PG-110センサーの青丸シール部分とマグネットを同軸上に合わせるとチェック用のLEDが点灯します。
※12Vの電源が取れていないとチェック用LEDは点灯しません。

※全てのマグネットにおいてLEDが点灯しない場合は電源が入っていないか、センサーとマグネットの間隔が離れすぎているか、位置が合っていないので、マグネットを貼り直し再調整してください。

※チェック終了後はチェック用のLEDを外し、必ず専用ハーネス白線のギボシ同士を接続してください。

※チェック用LEDは12vの電圧で点灯致しますので、チェック終了後多目的にご利用頂けます。

■フロントカウル内に専用ハーネス類を収納し、ハンドルカバー、フロントカウル、カバーサイド1を元に戻して完了です。

ローラーポジション及び、REVインジケータの登録方法や、エラー表示の詳細は、別売りのローラーポジションインジケータ(RPI-110)の取扱説明書をご覧ください